



STAGE SETTER 24

取扱説明書

Ver1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はElation STAGE SETTER 24をご購入頂き誠にありがとうございます。

製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

基本仕様

- 24 チャンネル DMX コントローラー
- 3ピン XLR 出力端子 X 2
- 3 種類の操作モード(2×12、12×12、1×24)
- シーン クロスフェーダー
- 12 マスターシーン
- 12 バンプシーン
- 15 チェース(内蔵 5 系統、ユーザープログラム 10 系統)
- 各ユーザープログラムに 64 ステップまで登録可能
- チェーススピード/フェードコントロール
- TAP SYNC ボタン
- MIDI 対応
- 4 桁 LCD ディスプレイ

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

安全上のご注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 本体又は電源アダプターに損傷がある場合は、本製品の使用をお止め下さい。
3. 付属または販売店/正規代理店が認可する電源アダプターのみをご使用下さい。
4. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。電源ケーブルは踏まれたり、挟まれたりすることのない場所に設置して下さい。
5. 電源、電圧が正しい事を確認の上ご使用下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。
6. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。他の機材と接続する際には必ず電源アダプターをコンセントから外して行ってください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
9. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
10. 本体は通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。湿気や振動が多い場所、周辺温度が 45℃以上、または 2℃以下になる場所では本体を使用保管しないで下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
11. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
12. 内蔵メモリーが損傷を受ける恐れがあるため、本体を頻繁に初期化しないで下さい。
13. 長時間、本製品をご使用にならない場合は電源アダプタを電源コンセントから抜いて下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスに連絡して下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

DMX-512 について

DMX-512

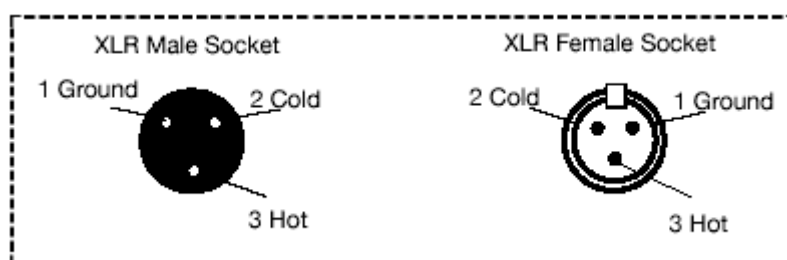
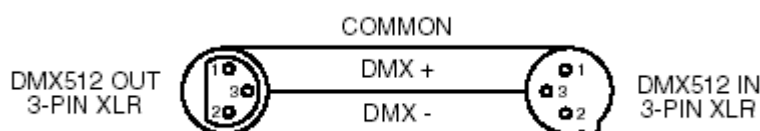
DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより、複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより、DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

DMX データの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番と、DMX のアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

DMX 機器との接続は、3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。DMX ケーブルを作る際は以下の図を参照して下さい。

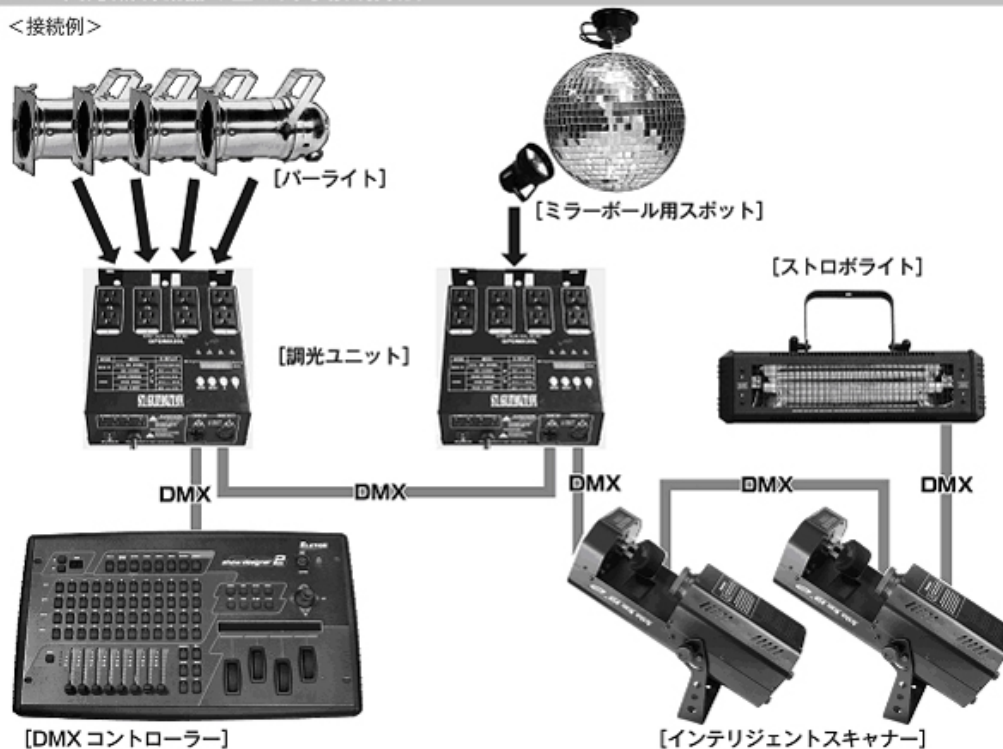


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに、5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを STAGE SETTER24 に接続する際は、変換アダプターをお使い下さい。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>


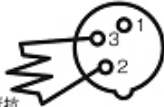


- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線して下さい。※
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取って下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

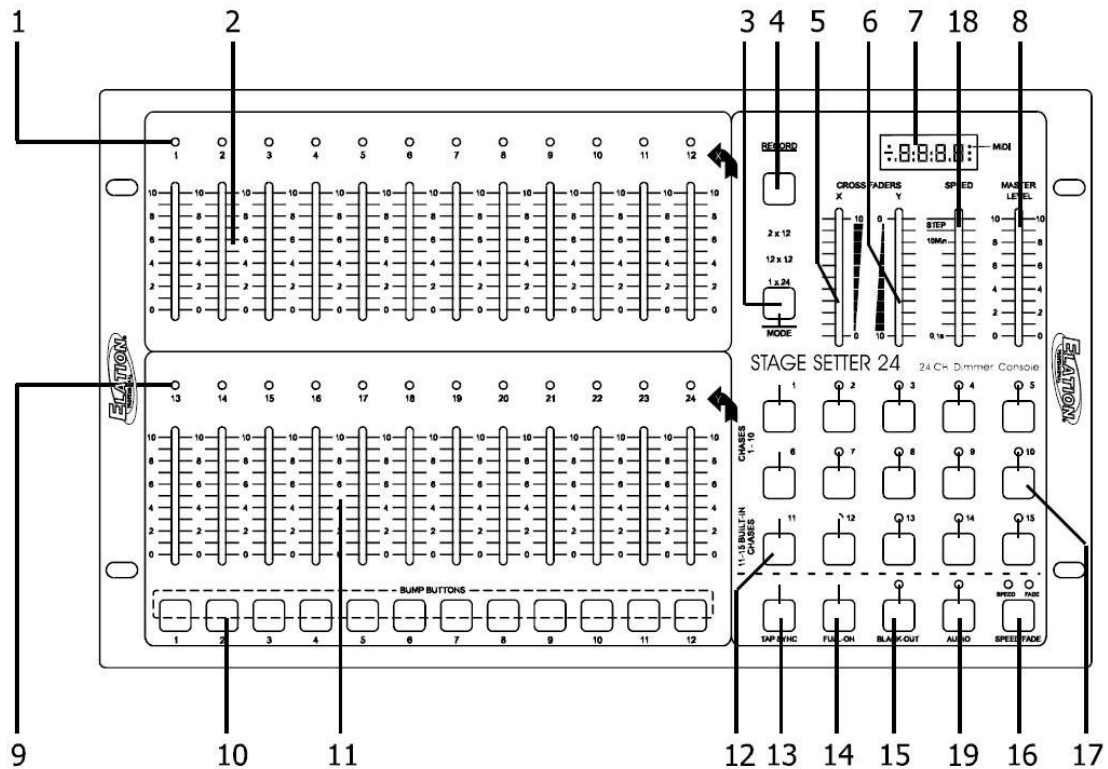
※一長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

フロントパネル



1. チャンネル LED (1-12)

各チャンネルにおいて現在設定されている DMX 値を LED の光の強さで表示します。

2. SCENE X - チャンネルフェーダー (1-12)

各チャンネルの DMX 値をコントロールします。チャンネル 1-12 全体の DMX 値は、CROSSFADER X(5)でコントロールします。

3. MODE ボタン

オペレーティングモード(2×12、12×12、1×24)の変更を行います。現在どのモードが選択されているか、本体に印字されたモード名上の LED で示されます。

4. RECORD ボタン

レコードモードを起動する際、また各ステップを保存する際に使用します。

5. CROSSFADER X

2×12、12×12 モードにおいて、SCENE X チャンネルフェーダー1-12 (2)全体の DMX 値をコントロールします。1×24 モードでは、チャンネル 1-24 全体の DMX 値をコントロールします。CROSSFADER X はフェーダーが一番上の状態で最大値となります。

6. CROSSFADER Y

SCENE Y チャンネルフェーダー13-24 (11)全体の DMX 値をコントロールします。CROSSFADER Y はフェーダーが一番下の状態で最大値となります。

7. ディスプレイ

チャンネル設定、オーディオ機能の有効/無効、MIDI 信号の受信、チェーススピードなどを表示します。

8. MASTER LEVEL フェーダー

全体の DMX 値をコントロールします。BUMP(10)機能と FULL ON(14)機能には影響を与えません。

9. チャンネル LED (13-24)

各チャンネルにおいて現在設定されている DMX 値を LED の光の強さで表示します。

10. BUMP ボタン

2×12、12×12 モードでは、チャンネル 1-12 のフラッシュボタンとして機能します。MASTER LEVEL(8)設定や BLACK OUT(15)機能に関わらず、BUMP ボタンを押したチャンネルの DMX 値が最大で出力されます。

1×24 モードでは、プログラムしたシーンの再生ボタンとして機能します。

BUMP ボタンは、フラッシュシーンやマスターシーンのプログラムを保存する際にも使用します。

11. SCENE Y - チャンネルフェーダー (13-24)

各チャンネルの DMX 値をコントロールします。チャンネル 13-24 全体の DMX 値は、CROSSFADER Y(6)でコントロールします。

12. BULIT IN CHASES(11-15)

5 パターンの内蔵プログラムを起動します。選択されたパターンの LED が点灯します。

13. TAP SYNC

TAP SYNC ボタンを 2 回連続して押すことにより、チェーススピードを設定します。

ボタンを押した間隔が、ステップの切り替わる間隔となります。TAP SYNC LED は設定された間隔で点滅します。チェーススピードは、チェースパターンの再生時でも設定可能です。

チェーススピードは、後に操作を行った設定が優先されます。例えば、TAP SYNC ボタンでチェーススピードを設定した後に、スピードフェーダーでチェーススピードを調整すると、スピードフェーダーが優先されます。

14. FULL ON ボタン

ボタンを押すと全てのチャンネル(1-24)が最大レベルで出力されます。この機能は本体がどのモードであっても有効です。

15. BLACK OUT ボタン

ボタンを押すと、全てのチャンネル出力が停止(暗転)します。但し、FULL ON(14)と BUMP ボタン(10)は、BLACK OUT ボタンより優先されます。

16. SPEED/FADE ボタン

チェーススピードとフェード機能の切り替えを行います。スピード設定時は LED が赤色、フェード設定時は緑色に点灯します。時間の設定は、SPEED/FADE フェーダーを使って行います。チェース再生時、スピードとフェードタイムを個別に設定することはできません。

17. CHASES(1-10)

ユーザーがプログラムしたチェースを起動します。対応するチェースプログラムが選択されると、LED が点灯します。

18. SPEED/FADE フェーダー

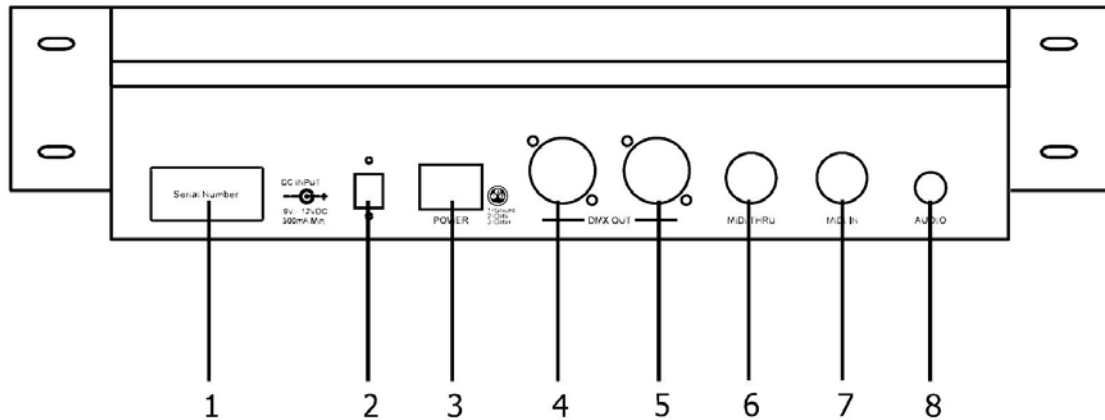
チェーススピード/フェードタイムの設定を行います。時間は 1/10 秒～10 分の間で設定でき、フェーダーが一番下の状態で最速となります。

フェーダーを一番上に設定するとディスプレイに”STEP”と表示されます。この状態では TAP SYNC ボタンを押す度にチェースステップが 1 つずつ進みます。

19. AUDIO ボタン

内蔵マイク、またはライン入力で音を検知する毎に、チェースステップが 1 つずつ進みます。ライン入力がされていない場合、内蔵マイクが機能します。

リアパネル



1. シリアルナンバー

2. DC 電源入力

DC12～20V、500mA 電源アダプターを接続します。

3. 電源スイッチ

主電源を ON/OFF します。

4. DMX OUT

5. DMX OUT

DMX 信号を DMX 対応機器に送信します。

6. MIDI THRU

MIDI 入力を受信した MIDI 信号を転送します。

7. MIDI IN

MIDI 信号を入力します。

8. オーディオ端子

ラインレベルの音声信号を入力します。形状は RCA 端子です。

操作モード

STAGE SETTER 24 には 3 つのモード (2×12、12×12、1×24) が有り、MODE ボタンにより選択することができます。対応するモードが選択されると、モード名上の LED が点灯します。

2×12 モードでは、12ch デュアルタイプのコントローラーとして動作します。CROSSFADER X でチャンネル 1-12、CROSSFADER Y でチャンネル 13-24 全体の DMX 値を調整します。

12×12 モードでは、上段 SCENE X のフェーダーでチャンネル 1-12 のコントロールを行い、下段 SCENE Y のフェーダーで、ユーザーがプログラムしたマスターシーンの再生及びレベル調整を行います。SCENE X チャンネル 1-12 は、マスターシーンの再生中でも操作することができます。

1×24 モードでは、24ch のコントローラーとして動作します。CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーでチャンネル 1-24 全体の DMX 値を調整します。BUMP ボタン 1-12 は、シーンの再生ボタンとして機能します。

プログラム方法

マスターシーン

12×12 モードで使用できる機能です。マスターシーンでは 1-12ch の使用が可能です。上段 SCENE X でチャンネル 1-12 のコントロールを行い、下段 SCENE Y にシーンをプログラムします。マスターシーンではフェード機能が使用できます。

- マスターシーンのプログラム -

1. 12×12 モードの LED が点灯するまで MODE ボタンを押します。
2. RECORD ボタンを押しながら、BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押してレコードモードにします。レコードモードになると、RECORD ボタン上の LED が赤く点灯します。
3. CROSSFADER X を一番上まで上げ、チャンネルフェーダー 1-12 を使ってプログラムしたいシーンを作ります。
4. フェードをかける場合、SPEED/FADE ボタンを押して FADE モードにします。FADE モードになると、SPEED/FADE ボタン上の LED が緑色に点灯します。SPEED/FADE フェーダーでフェードタイムを設定します。フェードをかけない場合は SPEED モードにします。
5. 1-12 の内、保存先の SCENE Y フェーダー下の BUMP ボタンを押して、シーンをプログラムします。1-24 の LED が点滅し、SCENE Y フェーダーにマスターシーンとして保存されます。
6. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

プログラムしたシーンは、対応するチャンネルフェーダー 13-24 を上げて再生します。

例:

マスターシーン 5 にプログラムを保存します。チャンネル 1 と 6(最大出力)、チャンネル 7(50%)、残りのチャンネルはオフとします。

1. 12×12 モードの LED が点灯するまで MODE ボタンを押します。
2. RECORD ボタンを押しながら、BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押します。
3. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。
4. フェーダー1-12 を 0 まで下げます。
5. フェーダー1,6 を最大にします。
6. フェーダー7 を 50%にします。
7. BUMP ボタン 5 を押すと 1-24 の LED が点滅し、マスターシーンが保存されます。
8. 追加でシーンを保存する場合は、手順 4~7 を繰り返します。
9. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

バンプマスターシーン

1×24 モードで使用できる機能です。BUMP ボタンにフラッシュシーンとしてプログラムを行います。このモードでは 1-24 全てのチャンネルが使用可能です。

- バンプマスターシーンのプログラム -

1. 1×24 モードの LED が点灯するまで MODE ボタンを押します。
2. RECORD ボタンを押しながら、BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押してレコードモードにします。レコードモードになると、RECORD ボタン上の LED が赤く点灯します。
3. CROSSFADER X を最大に設定し、チャンネルフェーダー1-24 を使ってプログラムしたい任意のシーンを作成します。
4. 1-12 の内、保存先の SCENE Y フェーダー下の BUMP ボタンを押してシーンをプログラムすると、1-24 の LED が点滅しシーンが保存されます。
5. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

プログラムしたシーンは、対応する BUMP ボタン 1-12 を押して再生します。バンプマスターシーンは、BUMP ボタンを押している間のみ再生されます。

例:

バンプマスターシーン 3 にプログラムを保存します。チャンネル 1、4、6、14、24(最大出力)、チャンネル 12(50%)、残りのチャンネルはオフとします。

1. 1×12 モードの LED が点灯するまで MODE ボタンを押します。
2. RECORD ボタンを押しながら、BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押します。
3. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。

4. フェーダー1-24 を 0 まで下げます。
5. フェーダー1、4、6、14、24 を最大にします。
6. フェーダー12 を 50%にします。
7. BUMP ボタン 3 を押すと 1-24 の LED が点滅し、バンプマスターシーンが保存されます。
8. 追加でシーンを保存する場合は、手順 4~7 を繰り返します。
9. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

チェース

最大 10 のチェースパターン(64 ステップまで)をプログラムできます。プログラムはチェースボタン 1-10 に保存します。2×12、12×12 モードでは 12 チャンネルまで、1×24 モードでは 24 チャンネルまでの DMX 値を保存できます。

- チェースのプログラム(2×12、12×12 モード) -

1. MODE ボタンを押して 2×12 又は 12×12 モードに設定します。
2. RECORD ボタンを押しながら BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押し、レコードモードにします。
3. 1-10 の内、保存先のチェースボタンを押します。
4. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。
5. フェーダー1-24 を 0 まで下げます。
6. チャンネルフェーダー1-12 を使い、プログラムしたい任意のシーンを作成します。
7. RECORD ボタンを押してステップを保存します。1-24 の LED が点滅します。
8. 手順 5~7 を繰り返して、全てのステップを保存します。
9. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

プログラムしたチェースは、対応するチェースボタンを押して再生します。

再生スピードは、SPEED/FADE フェーダー又は TAP SYNC ボタンで設定を行います。また、オーディオモードで再生することもできます。

例:

チャンネル 1-12 まで順番に最大出力となる 12 ステップのプログラムをチェースボタン 5 に保存します。

1. MODE ボタンを押して 2×12 または 12×12 モードに設定します。
2. RECORD ボタンを押しながら BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押し、レコードモードにします。
3. チェースボタン 5 を押します。
4. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。
5. フェーダー1-12 を 0 まで下げます。
6. フェーダー1 を最大にします。

7. RECORD ボタンを押してステップを保存します。
8. フェーダー1 を下げ、フェーダー2 を最大にします。
9. RECORD ボタンを押してステップを保存します。
10. フェーダー2 を下げ、フェーダー3 を最大にします。
11. RECORD ボタンを押してステップを保存します。手順 6-10 と同様に全 12 ステップの設定を行います。
12. 全てのステップが登録し終わったら、BLACK OUT ボタンを押して終了してください。

チェースのプログラム(1×24 モード)

1. MODE ボタンを押して 1×24 モードに設定します。
2. RECORD ボタンを押しながら BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押し、レコードモードにします。
3. 1-10 の内、保存先のチェースボタンを押します。
4. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。
5. フェーダー1-24 を 0 まで下げます。
6. チャンネルフェーダー1-24 を使い、プログラムしたい任意のシーンを作成します。
7. RECORD ボタンを押してステップを保存します。1-24 の LED が点滅します。
8. 手順 5~7 を繰り返して、全てのステップを保存します。
9. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

プログラムしたチェースは、対応するチェースボタンを押して再生します。

再生スピードは SPEED/FADE フェーダー又は TAP SYNC ボタンで設定を行います。また、オーディオモードで再生することもできます。

例:

チャンネル 1、8、16、24 が順番に最大出力となる 4 ステップのプログラムをチェースボタン 10 に保存します。

1. MODE ボタンを押して 1×24 モードに設定します。
2. RECORD ボタンを押しながら BUMP ボタンを 1、6、8、1、6、8 と押し、レコードモードにします。
3. チェースボタン 10 を押します。
4. CROSSFADER X と MASTER LEVEL フェーダーを最大値に設定します。
5. フェーダー1-12 を 0 まで下げます。
6. フェーダー1 を最大にします。
7. RECORD ボタンを押してステップを保存します。
8. フェーダー1 を下げ、フェーダー8 を最大にします。
9. RECORD ボタンを押してステップを保存します。
10. フェーダー8 を下げ、フェーダー16 を最大にします。
11. RECORD ボタンを押してステップを保存します。

12. フェーダー16 を下げ、フェーダー24 を最大まで上げます。
13. RECORD ボタンを押してステップを保存します。
14. フェーダー24 を下げます。
15. レコードモードを解除するには BLACK OUT ボタンを押します。

MIDI 機能

MIDI チャンネル設定

1. 電源スイッチをオフにします。
2. BUMP ボタン 1-4 を押したまま、電源スイッチをオンにしてください。MIDI 信号を受信すると、ディスプレイに MIDI 受信チャンネルが表示されます。
3. BUMP ボタン 11 を押して、1-16 の間で MIDI 受信チャンネルを変更します。
4. BLACK OUT ボタンを押して MIDI 設定モードを終了します。

MIDI 対応機能

MIDI ノートナンバーとそれに対応する機能は以下の通りです。ベロシティは光の照度に比例します。

MIDI ノートナンバー	ベロシティ	機能
0-23	チャンネル・インテンシティ	チャンネル 1~24 を ON/OFF 切替する
24-35		BUMP ボタン 1~12 を ON/OFF 切替する
36-50		PATTERN1~15 を ON/OFF 切替する
51		BLACK OUT
52		FULL ON
53		MODE
54		AUDIO

ディスプレイ設定

ディスプレイに表示される値を%とDMX値で切り替えます。0～100は%値を表し、0～255はDMX値を表します。

1. 電源スイッチをオフにします。
2. BUMP ボタン 1-4 を押したまま電源スイッチをオンにしてください。
3. BUMP ボタン 12 を押して表示を切り替えます。100 は%設定、255 は DMX 値を表します。
4. BLACK OUT ボタンを押して終了します。

初期設定に戻す

ユーザー設定したプログラムやシーンを全て消去します。

一度消去したユーザープログラム、シーンは復元ができなくなりますのでご注意ください。

1. 電源スイッチをオフにします。
2. BUMP ボタン 1、4、5、8 を押したまま電源スイッチをオンにしてください。初期設定に戻ります。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。 < >内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去して下さい。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

製品仕様

電源入力	DC 12~20V、500mA
DMX 出力	3ピン XLR メス×2
MIDI IN/THRU	5ピン DIN コネクタ
パターン	15 系統(内蔵パターン 5 系統、ユーザープログラム 10 系統)
サイズ	W38.1cm×H8.2cm×D22.2cm
重量	2.8Kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

